



Polaris news

【北高新聞 NO.202504】

ドイツからの留学生帰国 (2025.07.11)

ドイツから来ていたフィン君が、留学を終え、帰国することになりました。10 か月の間、サッカー部に所属し、2年生の国際理解コースと一緒に勉強しました。修学旅行は、普通コースの生徒たちと広島へ行きました。多くの思い出ができたクラスメイトとは、涙のお別れとなりました。いつかまた会えるといいですね。



【Finn から】

こんにちは、僕は日本で北高学校に通って10ヶ月になりました。僕は日本と北高校で過ごした時間を本当に楽しんだ。とても歓迎され、心地よく感じました。先生や生徒はいつも僕にとっても優しく感謝しています。日本の学校文化を知り、日本の学校生活に参加できて嬉しいです。日本とドイツの学校生活の違いを知るのはとても興味深かったです。制服を着て毎日日本語を話すのはとても楽しかったです。たくさんの友達ができとても嬉しいです。友達と一緒にランチを食べるのは本当に楽しいです。サッカー部で会話をするのは難しかったけど、サッカーをするときに楽しむために同じ言語を話す必要はない。北高校のサッカー部はとても強いと思うし、一緒にサッカーするのはとても楽しかったです。北高校に行って日本の日常生活を経験できたのはとても嬉しいです。これに参加できてとても嬉しかったです。この素晴らしい経験をさせてくれたホストファミリーにも本当に感謝しています。ホストファミリーと一緒に奈良や山形など日本の色々な場所を訪れることができました。ホストマザーは毎日おいしいお弁当を作ってくれました。毎週水曜日に焼きそば弁当を作ってくれました。それが僕のお気に入りでした。全体的に日本食は本当に素晴らしい。イングリッシュキャンプでは僕のクラスメイトと僕が大好きな焼きそばを作ったのが楽しかったです。僕の好きな授業は体育でした、バスケットボールとバレーボールはとても楽しかった。修学旅行で広島に行きました。原爆ドームに訪れたことはとても印象に残っています。ぼくは二年生として学校生活を送っていたので、修学旅行を通して三年生と新しく友達になれたことがうれしかったです。ドイツには文化祭がないので、日本の文化祭を体験することができ、日本での1年の素晴らしいスタートとなりました。体育祭も楽しかった。でも、僕の一番好きだった行事は、スポーツデーです。僕のクラスはバレーボールで3位を取りました。北高校での素晴らしい思い出はいつまでも忘れません。今年一年を私に与えてくれたすべての人にとっても感謝しています。僕を普通の学生のように扱い、この文化を身近に体験させてくれてありがとう。僕は本当にまた日本に来たいと思います。